

道 標 (みちしるべ) 第199号 平成23年3月14日 校長 稲垣 達也

施設・設備の安全点検を！！

災害に備え、校内の施設・設備や通学路などの安全点検を日常的・定期的を実施し、備品等の転倒・落下防止の措置をとり、可能な限りの具体的な予防対策を講じる必要があります。

〔安全点検におけるチェックポイント〕 大島にいた時に作成したものです。参考までに。

	備品・設備	主な該当箇所	点 検 ポ イ ン ト
日 常 の 点 検	ガラス、蛍光灯	教室、廊下、階段 トイレ、昇降口	- 割れて飛散していないか。 - 飛散防止フィルム等ははがれていないか。
	ロッカー、本棚等	教室、特別教室 図書室、昇降口	- 固定金具は、ゆるんでいないか。 - 転倒・移動の危険はないか。 - 上部に落下しやすい物を置いていないか。
	ガラス器具 食器類	理科室、家庭科室 技術室、保健室	- 転倒、落下、破損の危険はないか。 - 容器等を重ねて置いていないか。 - 棚など収納場所の扉は簡単に開かないか。
	薬品類 医薬品類	理科準備室 保健室	- 棚など収納場所の扉は簡単に開かないか。 - 薬品どうしの混合により発火する危険性がある場合は、保管場所、保管方法を考えてあるか。 - 劇薬等の危険性の高い薬品類は、砂箱等に収納してあるか。
	テレビ、ビデオ コンピュータ	教室、特別教室 コンピュータ室	- 転倒、落下、破損の危険はないか。 - 移動しないように固定してあるか。 - 固定金具や固定器具はゆるんでいないか。
	工作機械 工作用具	技術室	- 用具が落下することはないか。 - 収納棚などが転倒することはないか。
	石油ストーブ ガスストーブ	教室、職員室 校務員室	- まわりに引火物はないか。 - 安全装置は作動するか。 - タンクに燃料等は残っていないか。
	ガス	理科室、家庭科室 給食室、用務員室	- 元栓は閉めてあるか。 - ガス管は老朽化していないか。 - ボンベが転倒する危険はないか。 - ガスもれ警報装置等は正常に作動しているか。
	灯油等油類	ポンプ室	- 転倒、落下し流出することはないか。 - まわりに引火物はないか。 - 消火器等が近くに置いてあるか。
	フェンス、サッカーゴール 鉄棒	グラウンド、敷地	- 転倒、移動することはないか。 - 破損箇所はないか。

	区 分	事 項	点検者・点検時期
定 期 点 検	防火上の設備	全 般	副校長 毎月1回以上
	警報、消火、避難設備	外 観	生活指導部 毎月1回以上
	消火器	配置、外観など	生活指導部 毎月1回以上
	避難口・通路の状況	防火扉、荷物など	生活指導部 随時

臨時全校集会（防災集会） 3 / 1 5

先週の金曜日は、とても大きな地震があり、不安になったり、怖いなぁーと強く感じたりした人も多かったと思います。

でも、みなさんは、先生方の指示に従って落ち着いて行動することができました。今日は、みなさんの元気な様子を見て、安心しました。

しかし、大きな被害を受けた地域では、たくさんの方々が亡くなってしまったり、今も行方の分からない人が大勢いたり、とてもとても悲しい状況があります。一人でも多くの方が助かってくれればなと思うばかりで、大変心が痛みます。もしかしたら、みなさんの親戚や知り合いの方も、災害を受けた地域に住んでいた人がいるかも知れません。とても心配だろうと思いますが気持ちを冷静に保つことも大切です。

それでも今日から学校が再開しました。午前中の授業ですが、いつも通り、明るく元気に過ごしてほしいと思います。こういう時こそ、“いつも通り”が大切です。

これから担当の先生から、万が一の時の対応やこれからの学校生活についてのお話がありますが、校長先生から一つお願いがあります。

先生方は遠くから来ている人もいるため、交通手段が無く、来ることができない先生がいるかも知れません。今日も自転車で2時間もかけて来てくれた先生もいます。遅れてくる先生もいるかも知れません。担任の先生がいないと心配かも知れませんが、だからこそみなさんが力を合わせて、いつもの落ち着いた生活をしてほしいと願います。みんなで頑張って、いつもの学校生活をして下さい。



今、出来ること！！

- 平時の教育活動を保つことに全力を尽くす。
出来る限り通常の教育活動を展開する。
特に卒業式の実施、卒業していく児童に心を尽くす（今しか出来ない）。
年度末、年度初めの校務を滞りなく。
- 安全はすべてに優先する。児童も、教職員も、家庭も、安全第一。
- 防災頭巾は非常時に備え学校に置きとめ、登下校時は帽子を被らせる。
- 下校時の指導 下校時は、コース別の集団による下校とする。
引率後、学区内の 9 カ所に立ち安全確保に努める。
- 登校時の指導 信号機の停止等が予想される場合、
下校時と同様に学区内の 9 カ所に立ち安全確保に努める。
- 登下校の指導及び不測の事態に対応するために勤務時間の変更（臨時）
当面の間 勤務時間 7 時 45 分から 16 時 15 分まで
休憩時間 13 時 15 分から 14 時 00 分まで
職員打合 14 時 00 分から
なお、交通事情等で上記の出勤時間に間に合わない場合は、管理職に申し出る。
また、この緊急事態に対応するため、上記の退勤時間によらない場合も、管理職に申し出る。それぞれ、押印等については管理職の指示に従うこと。
- 節電に努める。
照明 教室及び廊下等の不要照明は消灯するなど、効率使用する。
廊下は、授業中は原則消灯、休み時間は安全確保のため点灯する。
その他 不要の電気機器のコンセントを抜くなど、細かな節電を積み上げる。
ただし、視聴覚機器など授業に必要なものは通常通り効果的に使用する。
- 服装・持ち物に留意する。
不測の事態に対応できる服装・持ち物とする。
特に、靴は留意する。（当面、校長は運動靴で出勤する。）
- 大規模な災害の発生に備えて
 - ・災害時に児童の安全を確保し、予想される危険や避難方法等について適切な指示指導ができるよう教職員の共通理解を図る。
 - ・施設設備については、日常の安全管理に万全を期すとともに、緊急時において避難経路が確保できるよう、備品等の設置方法や場所等について安全対策を徹底する。 → 199 号「施設・設備の安全点検を！！」を参照
- 公務員の責務
 - ・学校も避難場所になるとの認識に立ち、大事に備える。
 - ・大規模災害において、教育公務員としての機能を十分発揮する必要がある。
そのため、勤務時間外においても、自分の家族の安全などを確保できた場合は、学校が避難所となる場合もあるので、可能な教職員は学校に参集する。

天皇陛下が励ましのお言葉を発表 3/16

天皇陛下のお言葉の全文は以下の通り。

このたびの東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード9.0という例を見ない規模の巨大地震であり、被災地の悲惨な状況に深く心を痛めています。地震や津波による死者の数は日を追って増加し、犠牲者が何人になるのかも分かりません。一人でも多くの人の無事が確認されることを願っています。また、現在、原子力発電所の状況が予断を許さぬものであることを深く案じ、関係者の尽力により事態の更なる悪化が回避されることを切に願っています。

現在、国を挙げての救援活動が進められていますが、厳しい寒さの中で、多くの人々が、食糧、飲料水、燃料などの不足により、極めて苦しい避難生活を余儀なくされています。その速やかな救済のために全力を挙げることに、被災者の状況が少しでも好転し、人々の復興への希望につながっていくことを心から願わずにはいられません。そして、何にも増して、この大災害を生き抜き、被災者としての自らを励ましつつ、これからの日々を生きようとしている人々の雄々しさに深く胸を打たれています。

自衛隊、警察、消防、海上保安庁をはじめとする国や地方自治体の人々、諸外国から救援のために来日した人々、国内のさまざまな救援組織に属する人々が余震の続く危険な状況の中で日夜救援活動を進めている努力に感謝し、その労を深くねぎらいたく思います。

今回、世界各国の元首から相次いでお見舞いの電報が届き、その多くに各国国民の気持ちが被災者と共にあるとの言葉が添えられていました。これを被災地の人々にお伝えします。

海外においては、この深い悲しみの中で、日本人が取り乱すことなく助け合い、秩序ある対応を示していることに触れた論調も多いと聞いています。これからも皆が相携え、いたわり合って、この不幸な時期を乗り越えることを衷心より願っています。

被災者のこれからの苦難の日々を、私たち皆が、さまざまな形で少しでも多く分かち合っていくことが大切であろうと思います。被災した人々が決して希望を捨てることなく、身体（からだ）を大切に明日からの日々を生き抜いてくれるよう、また、国民一人ひとりが、被災した各地域の上にこれからも長く心を寄せ、被災者と共にそれぞれの地域の復興の道の手を見守り続けていくことを心より願っています。